

そよ風に揺れる木々の葉が春の陽ざしに照らされて、まぶしいほどにきらきらと輝いています。

入所・進級してから1か月が経ち、子どもたちは新しい生活にだいに慣れてきました。きりん・ぱんだ・うさぎ組は登所後のかばんの始末を終えるとすぐに、所庭に出て好きな遊びを見つけて楽しんでいます。小さいクラスの子どもたちも保育士に親しみをもち、笑顔で過ごせるようになりました。

これから、ますます外遊びが気持ちよく感じられる季節です。春の自然に触れたり、身体を動かして遊んだりしながら「保育所って楽しいな」と感じられるようにしていきたいと思えます。

5月の連休に入りますが、家で過ごす時間が長くなると、つい夜更かしをしたり、朝も起きる時間が遅くなったりして生活リズムが乱れ、体調を崩しやすくなります。生活リズムが一旦崩れると、規則正しい生活を取り戻すのに時間がかかります。疲れ過ぎないように体を休めたり、『早寝・早起き・朝ごはん』を心がけたりし、生活リズムを整えて元気に過ごせるようにしましょう。また、事故やケガのないよう十分気をつけて、ご家族でゆっくりとお過ごしください。

5月の行事予定

- 3日(火) 憲法記念日【祝日：休所】
- 4日(水) みどりの日【祝日：休所】
- 5日(木) こどもの日【祝日：休所】
- 9日(月)～13日(金) 身体測定週
- 10日(火) あいさつ運動
- 11日(水) なかよしデー「散歩」(うさぎ組以上)
- 17日(火) 避難訓練
- 19日(木) わくわくデー(柿畑見学：きりん組)
- 20日(金) 誕生会 集金日
- 24日(火) 柿畑見学予備日
- 25日(水) わくわくデー(さつま芋苗植え：うさぎ組以上)
" みなみ保育所参加：天神花公園横)
- 26日(木) クッキング：ホットケーキ、いちごジャム(うさぎ組)
- 27日(金) さつま芋苗植え予備日
" 布団持ち帰り



6月の主な予定

- 3日(金) ふれあいデー(節句会)

【お知らせ】なかよしデーについて

今年度も「なかよしデー」として、きりん組・ぱんだ組・うさぎ組の子どもたちが異年齢で交流をします。毎月様々な活動を計画していますので行事予定でご確認ください。

あそびの様子



きりん組
筍の皮はぎをしたよ



うさぎ組
ごちそうを作ったよ



ぱんだ組
満開の桜の下で



ひよこ組
お外は気もちいいね



ことり組
かえるみつけた!



りす組
どこ?どこ?みんなで虫探し

実習生について

5月30日(月)～6月11日(土)の期間、岡さん(専門学校1年生)が保育実習をしますのようお願いします。

職員出張関係のお知らせ

- 9日△年中児発達相談事業説明会～河原
- 20日△就学相談説明会～平野
- 26日△出雲市保育協議会総会～黒目
(▽は午前・△は午後の研修)

ご寄贈ありがとうございました
紙オムツ～保護者様

保育目標～〇春の自然にふれてあそぼう。

天気の良い日には保育所周辺や近くの公園へ散歩に出掛けて、春の植物や生き物を見つけることを楽しみます。大きいクラスでは、草花や虫を図鑑で調べたり、草花を使って色水作りやままごとを楽しんだりします。小さいクラスでは、5月のそよ風を感じたり、流れる雲を眺めたりして、身近な自然に触れて楽しみます。

〇戸外で体を動かしてあそぼう。

大きいクラスは所庭に出て、鬼ごっこをしたり鉄棒やうんていなどを使って全身を動かして、思う存分遊んだりすることを楽しみます。小さいクラスは裸足で所庭を歩いたり築山を登ったりして、外で遊ぶ楽しさや心地よさが感じられるようにします。

生活目標～〇あいさつや返事をしよう。

生活の中で、「おはよう」「さようなら」「ありがとう」「ごめんさい」などの様々なあいさつをかわす場面や、誰かに名前を呼ばれたり、話しかけられたりする場面がありますね。そのような時に黙っていると、相手は「聞こえなかったかな?」「伝わったかな?」などと思ってしまうものです。まずは私たち大人がお手本となり、子どもたちが自信をもって声を出し、気持ちのよいあいさつや返事ができるようにしていきます。

★令和4年度保護者会役員さんをご紹介します。

- 会長：田中様(きりん組)
- 副会長：長岡様(きりん組)
- 監事：伊藤様(りす組) ・ 岩谷様(ことり組)
- 委員：佐藤様(ぱんだ組) ・ 坂本様(ぱんだ組)
- " : 岡様(うさぎ組) ・ 落合様(うさぎ組)
- " : 熱田様(りす組) ・ 長岡様(ひよこ組)



〇出雲市認可保育所保護者会連合会役員

- 理事：岡様(うさぎ組)
- 評議員：坂本様(ぱんだ組)
- " : 熱田様(りす組)
- " : 長岡様(ひよこ組)



1年間どうぞよろしくお願いたします。

☆子育てのヒント

～あいさつはキャッチボール～

送迎の際、出会った保護者さんにあいさつをすると、気持ちがいいですね。顔を見合って声をかけ合う大人の姿に、子どもたちも何かしら心地よい雰囲気を感じているのではないのでしょうか。

『児童精神科 佐々木正美氏著者』の『続 子どもへのまなざし』の中で、あいさつを交わすことが家庭のやすらぎの場にもつながると綴っておられますので、ご紹介します。



～前略～ 家庭のやすらぎとか、くつろぎは、「ただいま」「おかえりなさい」「いってきます」「いってらっしゃい」という声が、どのくらい気持ち良く、快く響き合えるか、そういうことなのかなと思ってあります。幸せってこういうことだろうなと思うのです。～中略～

家庭を持っている、家庭を持つ幸せというのは、たとえば、だれかが待っていてくれることを、いつも感じられる幸せだと思うのです。みなさんは、今日だれかが、家で待っていてくれますか、私は待っていてくれるんですよ。家で、もう帰ってくる時間だとか、今か、今かと待っていてくれる人がいるというのは、大変幸せなことです。それから、今度は自分が留守番にまわることもあります。家族が外出したときに、家族の帰ってくるのを待っている自分というの、また、幸せだと思えますね。(佐々木正美著 福音館書店)



まずはご家庭で、〈声をかける・その声を受けて返す〉の、やりとりを楽しんでみてはいかがでしょうか。自分に対して、挨拶を必ず返してくれる相手がいると思うと、自然と元氣も出てきそうです。そんな心地よさを子どもたちに伝えていきたいですね。